

第6回特産品コンクール 入賞作品がリーフレットに掲載

県の仙北、平鹿、雄勝の地域振興局と秋田ふるさと村が主催する、第6回ふるさと特産品コンクールが昨年11月5日、6日の2日間、秋田ふるさと村で開催されました。

コンクールでは、来場者による投票とお土産売り場担当者、スーパーなどの仕入れ担当者が審査しました。その結果、アイデア・パッケージ部門賞に「角館さとくガーデン」が生産した『桜キャンドル』が、民芸品部門賞には「(株)八柳」が生産した『桜ストラップ』が選ばれました。

特産品をPRするリーフレットがこのほど完成し、仙北市から『桜キャンドル』と『桜ストラップ』2点が掲載されました。



来場者が出品された作品を審査し、投票しています



アイデア・パッケージ部門賞の桜キャンドル(左)
桜が香るピンクと白のキャンドルで表面に桜の花びらが浮き上がっています

民芸品部門賞の桜ストラップ(右)
桜の花びらをかたどった樺細工に白い花びらを配置した携帯電話ストラップです。

さくら吟行会開催



5月2日、西木公民館では桜木内川堤の桜並木を散策し、短歌や俳句を詠む「さくら吟行会」を開催しました。よい天気にも恵まれ、桜を満喫しながら感性を磨き合い、愛好者の交流を図りました。研修会にて互選されました作品をご紹介します。

俳句の部 第一席
連れだちて英産一枚の花の下 (大牧山郭)

短歌の部 第一席
風船を片手に母とゆく幼桜並木の人混みのなか
(佐藤愛子)

布ぞうり作りに挑戦

4月20日、山鳩館を会場に西木公民館手作り教室第一弾「布ぞうり作り教室」が開催されました。

布ぞうりはさわやかで、手洗いもできるので、これからの季節は部屋ばきにぴったりです。講師は田沢の千葉暁子さんです。最初は布を編むのに手こずっていた参加者も、先生から聞きながら一足編み上げるころにはずいぶん慣れてきたようでした。

